

顔ぶれ多彩 16チーム火花

2014ジャパンカップサイクルードレースは19日、名コースとして名高い「宇都宮市森林公園周回コース」(14・1キロ×10周+10・3キロ=151・3キロ)で国内外16チームがしのぎを削る。UCIプロ7チームを筆頭に、今回も多彩な顔触れとなった。

新城幸也(ヨーロッパカー)と別府史之(トレックファクトリー)の日本を代表する2人のレーサーの今大会初顔合わせは要チェックだ。北の地獄、と称されるフランスのプロロードレース「パリ〜ルーベ」を3度制したファビアン・カンチェラーラ(スイス、トレックファクトリー)は大会直前のトレーニングで負傷し欠場、12年ぶりの参戦は実現しなかった。

別府の所属するトレックファクトリーはメンバー構成、実力ともに注目チームの一つ。前回出場したレディオシャック・レオパードを引き継いだ。全日本選手権タイムトライアル王者の別府のほか、今年のジロ・デ・イタリアで山岳賞を獲得したジュリアン・アレドンド(コロンビア)も名を連ねる。

ファンが待望したヨーロッパカーのグリーンのジャージも古賀志を駆ける。ジャパンカップ制覇に向け、エースは新城が務める

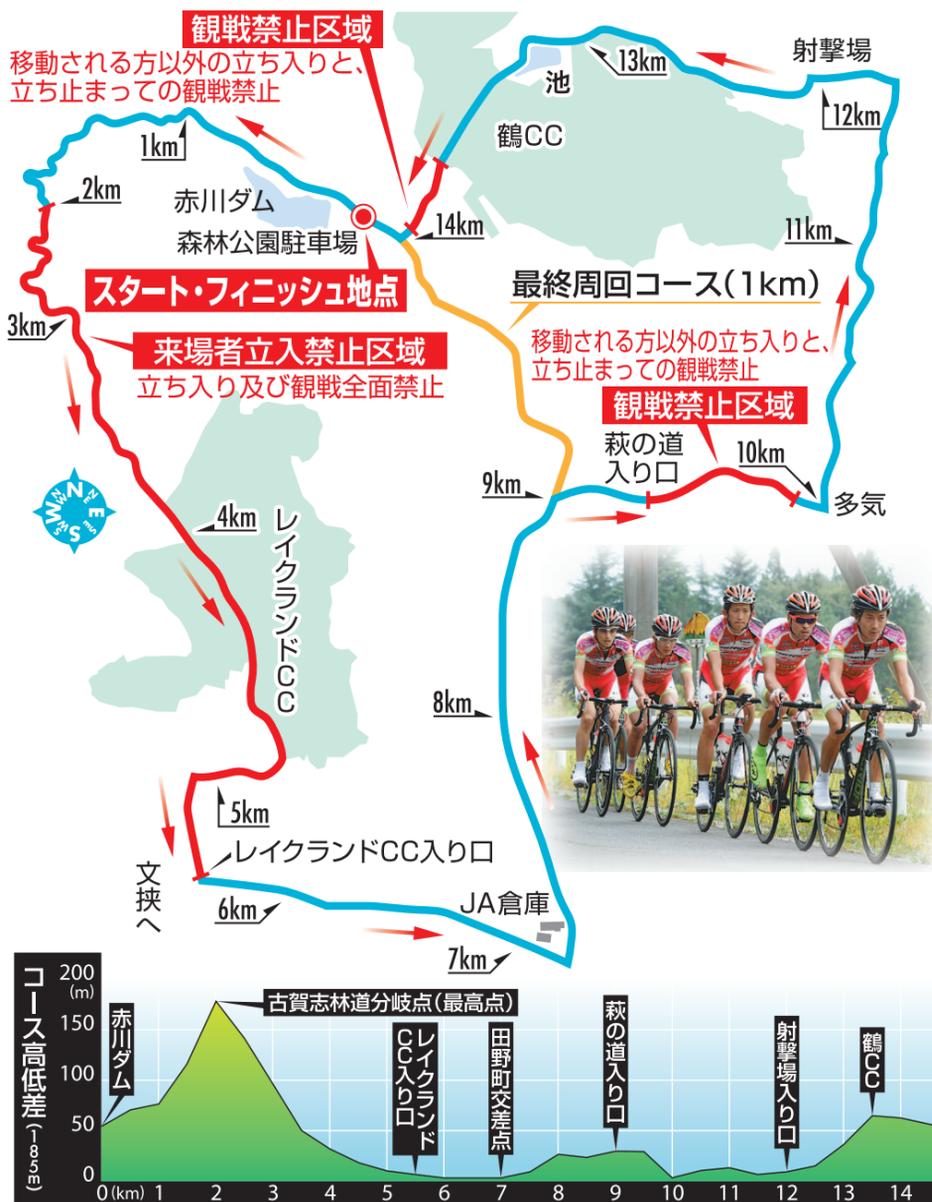
とみられる。そのほかダミアノ・クネゴ(イタリア、ランプレ・メリダ)、ネイサン・ハース(オーストラリア、ガーミン・シャープ)ら、勝ち方を知る歴代優勝者の走りに楽しみだ。

地元の意地を見せたいのは、宇都宮ブリッツェン。激しい風雨の中でのレースとなった前回は、チームとしての最高位が17位に終わっただけに、表彰台にいかにか近づけるか。中でも2年ぶりにブ

リッツェンのジャージに袖を通して臨むエース増田成幸、山岳賞を虎視眈々と狙う地元・宇都宮市出身のクライマー堀孝明の奮闘に期待したい。

新城と別府 古賀志初対決に注目 ブリッツェン 地元表彰台に挑む

19日 ロードレース展望



観戦ガイド 自転車持ち込み 林道内は禁止に

今回のジャパンカップロードレースにおける観戦の大きな留意点は「古賀志林道への自転車持ち込み禁止」だ。走行中の選手たちやオフィシャルカーの安全確保のため、6日に運営本部から発表が

あった。レースのスタート・ゴール地点となるのは、宇都宮市森林公園駐車場。同所では例年大型画面が設置され、レースの経過がリアルタイムで放映される。同所には軽食販売や自転車メーカーのテントが並び、スタートからゴールまでゆっくりとレース経過を堪能することができる。

レースの人気観戦ポイントは、

山岳賞ポイントが設定されている古賀志林道の頂上。例年、多くのファンが頂上付近に陣取り、険しい表情で林道を上ってくるレーサーたちに声援を送る。混雑を避けた観戦をしたければ、市森林公園駐車場前の鶴CCの上り坂で観戦するのもおもしろい。

ただ、安全確保の観点から古賀志林道の下りは立ち入りが全面禁止。鶴CC付近の下り坂なども、

立ち止まっただけの観戦は禁止されているエリア。事前にコースマップを一度は確認しておきたい。

19日の交通規制は午前9時50分から午後2時半まで。スタートは午前10時。混雑必至の会場にはシャトルバスや路線バスを使う手もある。大会主催者がつくる有料駐車場はないが、地元住民がつくる臨時駐車場がコース周辺にいくつか点在する。

年に一度の宇都宮餃子ファン感謝祭 **雨天決行** 会場内の焼餃子・水餃子 どれを食べても

宇都宮餃子祭り 2014

平成26年 11月1日(土) 2日(日) am. 10:00 ~ pm. 4:00 宇都宮城址公園 宇都宮市本丸町(宇都宮市役所東側)

100円 1皿 3個 10~20%割引 11月1日から3日まで

宇都宮餃子会直営店「楽らっせ」本店・バセオ店・東武宇都宮店ほか協賛店の餃子が